

# 重点目標の組織的、具現化を目指す学校評価

札幌市立澄川南小学校

## I はじめに

学校改善に結び付いた学校評価

### 1 本校における学校評価のねらい

本校においては自らの教育活動や学校運営について組織的・継続的な改善を行っていくとともに、保護者や地域住民に対して説明責任を果たし、教育活動やその他の学校運営に対する理解と参画を得て学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めるために、学校評価の改善に取り組んだ。

重点目標の具現化

### 2 昨年度までの学校評価を元にした改善点

#### 【その1】重点目標の具現化を推進

昨年度の学校評価の中で、重点目標は意識されていた一方、子どもにその力が育てることができたのかどうか、明確化されていなかったことから、今年度は、重点目標をさらに具体化した10の観点を設定し、保護者にも、今年度は子どもにこんな力を育てていきたいという澄川南のマニフェストとして公表し、実際に学年として経営案に10観点をどう具体化するのかを表記していくことにした。

学年経営交流会とリンク

#### 【その2】学年経営交流会とリンクさせた評価システムの構築

評価のための評価にならないように、年間4回の学年経営交流会を学校評価の中に繰り返し、評価の方法を多様化させることにより、自然な流れで、評価システムを構築させようと考えた。

## II 本校の学校評価のシステム

学校評価システム

### 1 自己評価と評価委員会

本校では、年間通しての重点目標（10観点）（PⅠ）⇒実施（DⅠ）⇒中間評価・改善・後期に向けて課題作成（CⅠ&PⅡ&AⅠ）⇒実施（DⅡ）⇒年度末評価（CⅡ）⇒改善（AⅡ）のPDCAPDCAのダブルサイクルで学校評価を改善し取り組んできた。

中間評価

中間評価は、学年経営とリンクさせ、各学年の自己評価（年間通しての重点目標10観点の具体化）を基に、学校全体で検証し、成果や課題を共有し、更なる方策を共通理解して改善の方向に進めている。

年度末評価

2月に実施する年度末評価（CⅡ）は、6月の学年経営交流会で確認（年間通しての重点目標10観点の具体化）、10月の学年経営交流会で確認（年間通しての重点目標10観点の具体化の成果課題・後期にむけての学校全体の課題）について、成果・今後の課題を明確にし、卒業式に向けて改善に取り組み（AⅡ）、次年度の教育課程の編成に反映させることをねらいにして取り組んでいる。

教育課程委員会

学校の自己評価に当たっては、教務主任、総務、学年代表、各部長で構成される教育課程委員会で「ねらい、内容、方法、日程、分析方法、公表する計画など」検討を加え、全職員に提案することになっている。

## 2 学校関係者評価

### 学校関係者評価

本校は数年前から、外部評価委員会を設置し、学校関係者評価を行っている。学校関係者評価は、自己評価の客観性を高め、教職員と地域住民・保護者が学校運営の現状について共通理解を図り、教育活動や学校運営の改善を行うことを目的としている。

### Ⅲ 学校評価の年間の流れ

	自己評価			学校関係者評価
	学校（教職員）	児童	保護者	学校関係者評価委員会
4	学校経営方針・重点目標から具体化された10観点の確認 学校教育説明会（TV放送による）		学校教育説明会（TV放送） 参観懇談（今年度PTA活動）	学校評議員、PTA会長、ミニ児童会館館長
5	第26回運動会	運動会の取り組みが んぱりカード	懇談会（学年学級経営方針説明） 運動会参観	運動会参観
6	第2回学年経営交流会 重点目標を具体化された10観点を学年としてどう実践するのか具体策を交流 運動会の反省（成果課題）子どもの育ち		参観懇談（運動会の反省、子どもの育ち）	
7		終業式夏季休業生活が んぱりカード	個人懇談（学力テスト結果の説明）	
8		始業式夏季休業生活が んぱりカード	参観懇談（通知表の見方の説明）	
9	前期通知表配付		保護者地域学校公開日（参観）	地域学校公開日参観
10	第3回学年交流会（中間評価） 職員会議の中で、交流様子の報告、後期に向けて課題の確認 第26回学習発表会	学習発表会取り組みが んぱりカード 励ましカード交流	学習発表会参観	学習発表会参観
11	保護者、児童アンケートを10観点到リンクさせて作成 学習発表会反省（成果課題）子どもの育ち		6年学力テスト結果改善策公表 参観懇談（学習発表会反省）	
12	学校評価各部、各特別委員会	児童アンケート実施回収 終業式冬季休業生活が んぱりカード	保護者アンケート実施回収 個人懇談（後期の生活の様子）	
1	学校評価全体会	始業式冬季休業生活が んぱりカード		学校関係者評価委員会開催のお知らせ郵送
2	第4回学年学級交流会（年度末評価） （学年末にむけ課題の解決に、改善実践）		学校関係者評価書公表 参観懇談（次年度PTA活動）	学校関係者評価委員会開催 学校関係者評価書公表の承諾、公表
3	後期通知表配付 学校教育報告会 学校便り、ホームページで公開	学年末のまとめ 卒業式 修了式 春季休業	低中高学年末懇談会（学校教育報告会）	

#### IV 学校評価の方法

評価項目の重点化を図る

重点目標

##### 1 自己評価

###### (1) 項目の設定

重点目標から具体化された10の観点を設定。

思いやりのある子…思いやりと自律心の育成  
仲間づくりの重視  
家庭との連携

たくましく元気な子…群れ（集団）遊びの推進  
責任感・達成感の重視  
心と体の健康の推進

進んで学習する子…基礎基本学習の徹底、学習意欲と家庭学習  
表現力・コミュニケーション力を高める学習の重視  
読書活動の推進  
安全意識・健康習慣の徹底

###### (2) 児童・保護者アンケートの実施

重点目標を具体化した10の観点をリンクさせて作成。

###### (3) 結果の概略、集計と分析・自己評価書の作成

評価項目	学年評価 A の割合	児童評価 A の割合	保護者評価 A の割合	分析
思いやりと自律心		142/309	57/286	※「思いやりのある子」では、仲間づくり、挨拶、思いやりと自律心に今ひとつであることがわかる。
挨拶		133/309	66/281	
仲間づくり		134/309	64/272	
家庭との連携		148/309	64/265	
群れ（集団）遊び		196/309	74/271	※「たくましく元気な子」では、全体的に成長している姿を実感していると思われる。
責任感・達成感		168/309	96/281	
心と体の健康		157/309	112/282	
基礎基本の徹底		173/309	70/285	※「進んで学習する子」では、表現力、コミュニケーションの力をもっと付けたいという願いが表れている。
家庭学習		135/309	70/285	
表現力		88/309	44/275	
読書活動		131/309	74/283	
安全意識・健康習慣		128/309	67/273	

自己評価書については、別紙資料参照。この自己評価はごく一部なので、2月の学年経営交流会後には、全体像を把握し、自己評価書にまとめ、それを公表することになる。Aとは、「よくできた」、「十分成果が表れた」ことの評価。

#### (4) 改善策の検討

保護者、児童アンケートと、重点目標の項目をリンクさせたのは今年度が初めてだったが、三者の願いが表れていて興味深い結果になっている。この結果を十分吟味し、次年度の学校評価の取組に生かしていきたいと考える。

### 2 学校関係者評価

#### (1) 学校関係者評価委員の構成と役割

学校評議員と PTA 会長、ミニ児童会館館長で構成されている。学校関係者評価委員会は、自己評価の内容・方法などについて説明を受け、教育活動その他の学校運営の改善が適切に行われたかどうかを客観的に評価し公表する。

#### (2) 学校関係者評価書の作成

別紙資料参照。学校関係者評価委員会を開催し、評価書に添って話し合いを進め、まとめ、公表していきたい。

## V 評価結果の公表

### 1 公表の方法

本校では、今年度、評価結果の公表を以下の方法で行う予定である。

- ・3月の低中高のブロックごとの学年末懇談で学校教育報告会
- ・学校だより
- ・学校ホームページ

### 2 公表の効果

昨年度までの公表の様子から言えることは、保護者のアンケートの回収率が90%を超えていること、記述内容から、よいところはよい、改善すべきところも遠慮なく指摘していただいている。改善すべきところがあれば、分析を待たず、学校として速やかに対応してきている。このような取組から、学校への信頼感、安心感が醸成してきていると考える。

## VI 成果と課題

### 1 成果

第一に重点目標を形骸化させないために、重点目標を10の観点に具体化することにより、子どもを育てる目標が明確になり、手だてや成果課題がはっきり見えてきたことである。また保護者に対しても、学校の「教育活動マニフェスト」として、説明会、懇談会の前などのプリントにして配付、学校だより配付等を通して公表することにより、保護者の理解と協力を得ることができたことである。

第二に評価のための評価にしないため、学年経営交流会を中間評価・年度末評価に繰り入れ、成果課題を交流することにより、重点目標10の観点を年間通し、学年経営として意識して取り組むことができたことである。

### 2 課題

今年度の重点目標をさらに吟味して、次年度の重点目標の具体化を図ることができるように改善する。仙台での協議会での発表事例から、学校評価の目標の明確化を図るため、学校として組織的・継続的な改善を図ることと、評価の公表・説明により適切に説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることを目指して取り組んでいきたい。

## 【参 考 文 献】

- |  |              |
|--|--------------|
| ・「札幌市の学校評価」「仙台版学校評価」                         | 札幌市、仙台市教育委員会 |
| ・学校評価推進事業協議会（仙台会場）<br>「学校評価を活用した学校運営の改善」     | 仙台市立松森小学校    |
| ・学校評価推進事業協議会（仙台会場）<br>「学校評価の更なる発展に向けた考え方と手法」 | 天笠 茂         |

(様式 1)

平成 20 年度 自己評価書

平成 21 年 3 月 日  
札幌市立澄川南小学校

1. 本年度の重点目標  
「見直す・つくる(育てる)・きょうどう(共同、協働、協同)で」を大要に  
～よいかかわり合いを通して、心と頭と体が育つ1年に～
2. 本年度の経営方針  
1. 「学校は楽しい」という気持ちをどの子も持てる学校づくりを進める。  
2. 学習、生活、健康・安全について基礎・基本的な力が身につく学校づくりを進める。  
3. 家庭や地域の教育力を活用し、安全で信頼される学校づくりを進める。  
4. 新指導要領実施に向けての準備を進める。
3. 自己評価結果

A 十分成果があがっている、B まあまあ成果があがっている、C 改善が必要である

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標の内容は、学校や児童の実態から見て、適切であるかどうか。</li> <li>・重点目標の内容がわかりやすく、取り組みの過程をよく把握することができたかどうか。</li> <li>・重点目標を具体化し、バランスの取れた教育課程を編成することができたか。</li> </ul>		
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の学習の徹底を図るために、「わかる、できる、面白い」と実感できる学びを充実させ、同時に家庭学習の習慣化をも図る。</li> <li>・表現力・コミュニケーション力を高めるために、相手意識のある話し方、聞き方を指導し、子どもたちが自分のことばで、繰り返し学習を重視した授業づくりを図る。</li> <li>・朝読書や常記図書の活用を通して、読書活動の一層の推進を図る。</li> </ul>		

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全意識、健康習慣の徹底を図る。</li> <li>・思いやりと自律心を育てるために、一人一人のよさを生かす学級経営、規範意識・自律心、相手意識に立った言語環境、気持ちのよい挨拶の推進を図る。</li> <li>・仲間づくりをはぐくむために、よいリーダーの育成、仲間と問題解決を図る風土づくり、協力・助け合いを重視した指導に力点を置く。</li> <li>・集団遊びを取り入れ、協力・協働・忍耐・努力の心を養う。</li> <li>・委員会・クラブ・係・当番活動、自分のことは自分で・・・を基本にして、責任感や達成感を味わわせる。</li> <li>・心と体の健康の推進を図る。</li> </ul>		
保護者、地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携で、生活改善を図り、よりよい親、思いやりを育てる。</li> <li>・安全・安心な環境づくりと指導の強化を図る。</li> <li>・外部機関や外部団体との交流や協力の重視を図り、よりよい問題解決を図る。</li> </ul>		
その他			

(様式2)

平成20年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成21年3月 日  
札幌市立瀬川南小学校

1. 本年度の重点目標

「見直す・つくる(育てる)・きょうどう(共同、協働、協同)」を大切に  
～よいかかわり合いを通して、心と頭と体が育つ1年に～

2. 本年度の経営方針

1. 「学校は楽しい」という気持ちをどの子も持てる学校づくりを進める。
2. 学習、生活、健康・安全について基礎・基本的な力が身につく学校づくりを進める。
3. 家庭や地域の教育力を活用し、安全で信頼される学校づくりを進める。
4. 新指導要領実施に向けての準備を進める。

3. 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	学校関係者の適切さ
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標の内容は、学校や児童の実態から見えて、適切である。</li> <li>・重点目標の内容がわかりやすく、取り組みの過程をよく把握することができた。</li> <li>・重点目標を具体化し、バランスの取れた教育課程を編成することができた。</li> </ul>				
学校関係者評価による意見					
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の学習の徹底を図るために、「わかる、できる、面白い」と実感できる学びの充実と、家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>・表現力・コミュニケーション力を高めるために、相手意識のある話し方、書き方、子どもたちが自分ごとばで、繰り返しあえる学習を重視した</li> </ul>				

授業づくりを図る。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書や新読図書の活用を通して、読書活動の一層の推進を図る。</li> </ul>					
学校関係者評価者による意見					
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりと自律心を育てるために、一人一人のよさを生かす学級経営、規範意識・自律心、相手意識を持った言語環境、気持ちのよい挨拶の推進を図る。</li> <li>・仲間づくりを重視するために、よいリーダーの養成、仲間と問題解決を図る風土づくり、協力・助け合いを重視した指導に力点を置く。</li> <li>・集団遊びを取り入れ、協力・協調・忍耐・努力の心を養う。</li> <li>・委員会・クラブ・係・当番活動、自分のことは自分で・・・を基本にして、責任感や達成感を実わわせる。</li> <li>・心と体の健康の推進を図る。</li> </ul>				
学校関係者評価者による意見					
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携で、生活改善やよい様、思いやりを育てる。</li> <li>・安全・安心な環境づくりと指導の強化を図る。</li> </ul>				
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関や外部団体との交流や協力を重視し、よりよい問題解決を図る。</li> </ul>				
の連携	学校関係者評価者による意見				